

# Seisei Times No.3

聖星タイムズ

NOVEMBER 2017



## 吹奏楽部 全国大会出場 おめでとう!

### 全日本吹奏楽コンクール 3年連続出場5回目



### 強豪校と渡り合い、巨匠と共演

本校吹奏楽部は、10月22日に開かれた全日本吹奏楽コンクール全国大会に3年連続5回目の出場を果たしました。「野球の甲子園より狭き門」ともいわれる同大会で、強豪校と渡り合う我が吹奏楽部。その魅力の一端を紹介しましょう。

「夏の甲子園は、一部を除いて1県1代表の49校が出場します。これに対し吹奏楽の全国大会は、全国10ブロックから30校のみ、出演するだけでも大変なことなのです。」吹奏楽部音楽監督の土屋史人先生は、このように語ります。

静岡県の場合、まず県大会で3位以内になり、続いて東海ブロック大会でも3位以内に入らなければ全国大会に進めません。現在、本校は県内では文句なしに実力ナンバー1ですが、東海ブロックでは強豪の愛知勢と激しく競り合っています。とくに愛知工業大学名電高校や、光ヶ丘女子高校などは強敵で、これらの学校との戦いは非常に厳しいものです。

さらに、全国大会ともなると通算出場10回以上の常連校はさらにあり、それに比べると5回目の本校はまだまだ新参者。今年の成績は銅賞で、最賞の金賞を獲得するにはさらなる精進が必要です。しかし、本校吹奏楽部の音楽性は審査員に高く評価されており、今後の努力次第では、高校吹奏楽界の頂点に立つことも決して夢ではありません。

ところで、今年の本校吹奏楽部にはもう一つの快挙がありました。8月27日と9月3日、老舗音楽番組「題名のない音楽会」(テレビ朝日系)に2週連続で出演したのです。いずれも、柏市立柏高校、東海大付属高輪台高校という吹奏楽名門校との共演で、本校吹奏楽部は両校に勝るとも劣らない演奏を披露しました。とくに9月3日の回では、映画「マルサの女」テーマ曲の作曲・演奏で知られるサックスの巨匠、本多俊之さんと共演しています。

「本多さんには以前から本校吹奏楽部を気に入っていただき、ご自身の最新アルバム『DINOSAX』に部員を参加させてくださいました。この時、部員たちはスタジオジブリの映画音楽を録音するプロ用スタジオで演奏させてもらい、本当に感激したと思います。本多さんには、次回の本校定期演奏会にゲストとして参加していただく予定です。今後も、私たちをご指導、応援していただきたいと願っています。」(土屋先生)

全国大会への出場や巨匠との共演。これからも吹奏楽部の活躍に目が離せない、といえそうです。





# 体育祭

9月26日、平成29年度体育祭が開催されました。共学化してから初の体育祭とあって新たな種目も登場し、これまでとは一味違った盛り上がりを見せました。

今年度の生徒会が掲げたテーマは、「創造」。「自分たちの未来を創ろう。そして新しい学校を創ろう」という志

気が高まる体育祭にしようと、夏休み頃から準備を重ねてきました。今回は共学化して初の体育祭とあって、男子生徒も女子生徒と変わりなく楽しめるような種目を検討。1000メートル走を復活させることや、騎馬戦を男女別で行うことなどを決定しました。

いよいよ迎えた当日。秋晴れの下、赤・桃・緑・青・黄のチームカラーで彩られた運動場には、最初の種目の大縄跳びから元気な掛け声が響き渡ります。1000メートル走では男子生徒の力強い走りによって、これまでとは一味異なる躍動感が会場にみなぎりしました。そしてクライマックスは応援合戦。企画段階では、男子生徒がダンスを踊ることに抵抗を示すのではないかと心



配の声も挙がりました。当の男子生徒たちは練習に積極的に参加し、3年生のリーダーの下で熱心にダンスを習得。当日も男女共に笑顔で輝かせ、白熱した応援合戦を繰り上げました。終了後に男子生徒たちから寄せられた感想は、「男女丸となって楽しめた」、「応援練習を通じて上級生と気軽に話せるようになった」、「クラスの絆が深まった」等々。

一方、生徒会では、リハーサルの際取りや当日の放送と進行の連携が上手く図れなかったことなどが反省点として挙げられました。「今後は開かれた生徒会としてもっと皆の声を吸収し、形にしていきたいです」と語る生徒会長の岡田望乃菘さん。体育祭での反省を生かし、6月の文化祭はさらに良いものになりたいと意欲を示しました。



男女や学年の垣根を超えて楽しめました！

## アクティブ・ラーニング

浜松聖星高等学校 校長 重信明利



過去、文部科学省や中央教育審議会などの手により、1980年度施行の学習指導要領には「ゆとり教育」の推進がその教育方針に盛り込まれ、さらに2002年度には「生きる力」の育成が同じく教育方針に盛り込まれて、21世紀の日本の教育指針が形成されてきました。したがって、近年「生きる力を持ったゆとり世代」が多数放出されているはずですが、どちらかというと生きる力と余裕を失ってしまった若者が現代社会では多く目立ちます。返って昭和の時代活躍した団塊の世代の人たちの方が、高度経済成長、オイルショック、バブル経済、バブル崩壊に揉まれ、その中をたくましく生き抜いてきたまさに「生きる力を持った世代」と呼べるのではないかとさえ思えます。

このように文科省や中教審の提唱が裏目に出る現象が常態化している中、今度は2020年からの「高大接続システム改革」に伴う「アクティブ・ラーニング」の必要性を文科省は前面に打ち出しました。

アクティブ・ラーニングは、それまで多くあった教員によるレクチャー（講義）式の授業ではなく、生徒が能動的に「調べ学習」「グループワーク」「プレゼンテーション」などに臨む「課題解決型学習」とであるとされています。これまでの知識や技能の伝達を目的としたものというより、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する授業であるということ、その方法について現在日本中様々な学校でシミュレーションが行われ、研究及び研修が盛んに行われています。

過去の苦い経験を活かし、今度こそ子供たちの「生きる力」を育成しようというこの文科省の方針を慎重に見守りながら、本校教員団も、視察や研修を重ね、マニュアルに頼らない独自のアクティブ・ラーニングを探求したいと考えています。

## 英語学習で一番大事なこと

学校法人 浜松海の星学院 理事長 北脇保之



日本の国際競争力を引き下げている大きな要因に、日本人の英語力の低さがあるとよく言われます。政府もこれを何とかしようと考え、小学校で英語を教科化したし、大学入試については民間英語検定機関による4技能（読む・書く・聞く・話す）試験を導入したりするなど様々な政策を打ち出しています。私自身こうした動きには賛成ですが、新しい取り組みが実際に効果を上げるためには、英語学習でいちばん大事なことは何かをしっかりと押さえていないといけません。私は自分の経験から、それはとにかく使うこと、話すにせよ、書くにせよ、自分の言いたい事を自分で表現してみることだと思います。相手は日本人でもいいし、初めは文法的な間違いなどあってもいいのです。

私も多くの日本人と同様に中高大学と8年間英語を学びましたが、大学卒業の時点では実用の役に立つものにはなっていませんでした。大きな転機になったのは、自治省（現総務省）への就職後3年目に国際研修のコーディネーターを命じられ、いやおうなしに英語を話さざるを得ない立場になったことです。昼間の勤務が終わった後英会話学校に通って準備した結果、外国から日本の地方自治を学びに来た研修生と英語で打ち合わせができるようになったのは大きな喜びでした。これをきっかけに、その後政府派遣による米国留学の機会も得ることができました。

この夏行われた「エンパワーメント・プログラム」では、国際特進コース1年生を中心に、米国の大学生たちと英語漬けの5日間を過ごしました。私の世代から見るとまことに贅沢なことです。生徒たちには、現代の恵まれた環境を最大限活かして、英語を身につけてほしいと思います。

## We are native English teachers



## 新メンバーでパワーアップ!

本校の特色ある英語教育を支える外国人教師陣。今年度から、おなじみのブラッドリー先生にフランク・パーカー先生、ALT(外国語指導助手)のシモン・ロシェル先生が加わり、さらにパワーアップしました。そんな外国人ティーチャーたちのスペシャル・トークをお届けしましょう。



フランク・パーカー先生



シモン・ロシェル先生



ブラッドリー・ロデン先生

—ではまずフランク先生から、簡単な自己紹介をお願いします。

**フランク** 私はカナダのエドモント出身。1985年に来日し、聖隷クリストファーで30年間、英語教師をしてきました。今年3月に聖隷を退職し、4月から月木金は浜松聖星高校、火水は聖隷で非常勤講師をしています。ブラッド ベテランのフランクが来てくれて、僕も心強い。授業も少し楽になったかな(笑)。

—フランク先生は、どういう経緯で本校に?

**フランク** 聖星と聖隷はカトリック校同士の交流があり、両校の校長先生も友だち同士なんです。重信校長が聖隷の校長先生に外国人教師の紹介を頼んだところ、「じゃあ、フランクを紹介しよう」となったわけです。

—聖星の印象はいかがですか?

**フランク** 家が近くていい(笑)。それと、今年から共学化したので、もともと共学校で教えていた私の経験も活かせると思いますね。

**ブラッド** 女子に比べ、男子はちょっと難しい。ロールプレイングの授業で、女子はノリノリだけど男子は反応が薄いから。男子も積極的に授業に参加できるよう、まず雰囲気づくりが大事だと思いますね。

—でも、8月のエンパワーメント・プログラムでは男子も元気よかったですよ。

**ブラッド** そうでしょ?あれはやってよかったと思います。今後はフランクと一緒に、男子が女子をお手本にして上達していけるような授業を普段からしていきたいですね。

—では、次にシモン先生にお伺いします。出身地と日本へ来た動機をお聞かせください。

**シモン** アメリカのコネチカット州から来ました。以前、私はほとんどアメリカ国外へ出たことはなかったのですが、大学で国際関係を学んだことから、全く違う文化を体験したいと思うようになったんです。なぜ日本を選んだかというと、食べ物、言語、歴史、自然などの魅力がたくさんあると感じたから。それと、健康保険システムも優れていると思いますね。

—聖星の生徒たちはどうですか?

**シモン** 少しシャイで、私が英語で話しかけても、わかってるんだかわかってないんだか、はっきりしない時があります(笑)。でも、本当に素直でいい子たちばかりなので、だんだんとよくなっていくと思いますよ。

—まだ慣れない面もあると思いますが、浜松での仕事と生活を楽しんでください。5月には浜松まつりもありますよ。

**ブラッド** そりゃあぜひ、シモンも参加しなきゃ(笑)。来年、僕はまつりの青たすき(副組長)になるかもしれないしね(笑)。

—それはすごい(笑)。英語教育も、まつりでの活躍も期待しています(笑)。本日はありがとうございました。

### ブラッドリー先生の 間違いやすい日常英会話 ★Lesson 3★



I'm hungry.  
I want to eat  
some ice cream.

**OK!  
GOOD!**



I'm hungry.  
I want to eat  
some ice.

**NO!**

日本語では単語をよく省略するね。その1つは「アイス」。「アイス食べたい!」とよく言うでしょう。英語では「Ice」は「氷」のこと。もちろん氷を食べたいなら、上の表現になるんだけど、外国人に言ったら、変な顔をされるかもしれない。英語を省略すると意味が変わる場合があるから気をつけようね! ちなみに「かき氷」はshaved iceと言います。



# 数検グランプリ金賞を受賞!



本校はこのほど、公益財団法人日本数検協定協会から「実用数学技能検定グランプリ」金賞を授与しました。今回、金賞を獲得したのは全国でわずか5校。ベスト5の1校に選ばれたことで、今後は英語だけではなく「数学の浜松聖星」へと飛躍することも、大いに期待できそうです。

「金賞は、数検グランプリ奨励賞を受賞した高校の中から、とくに優秀と認められた学校に対し年に一度授与されるもの。この10年間、考える力や発想力重視の数学指導を行ってきたことが実を結び、大変うれしく思っています」。数学の今



みんなも挑戦しましょう!

泉孝夫先生は、このように喜びを表現します。

英検と同様、数検には級があり、数ⅠAが準2級、数ⅡBが2級に相当。このうち2級は全国平均の合格率が27%（昨年度）の難関ですが、本校は何と2級合格率100%を達成しています。「数検2級の資格を取れば、理系だけでなく文系でも、金融機関などに就職する場合は非常に有利です。また、物事を多面的にとらえていく力を養うためにも、数検の勉強は役立ちます。今後、より多くの生徒に挑戦を勧めたいですね」と、今泉先生は語っています。

## 部活動結果

### 吹奏楽部

第65回全日本吹奏楽コンクール銅賞

### 陸上競技部

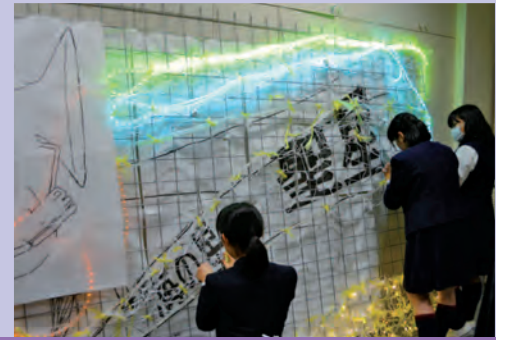
第20回 東海高等学校新人陸上競技選手権大会出場  
 女子800m 平井美羽 4位  
 女子4×100mR  
 水野史帆子、市丸海夢、内山真奈、清水胡桃  
 女子4×400mR  
 平井美羽、市丸海夢、内山真奈、清水胡桃 5位  
 女子走高跳 金子麻衣



## フルーツパーク 時之栖 「イルミミュージアム」に出展します

はままつフルーツパーク時之栖にて第3回イルミミュージアムのイルミネーションブースに初出展します。本校の特徴をイルミネーションで表現した作品をぜひご観覧ください。

開催期間は11月11日(土)から1月14日(日)の65日間。はままつフルーツパーク時之栖 西エリア フードコート・ベルレが目印です。



## 入試関連

- 秋のオープンスクール日程  
11月11日(土) 11月25日(土)
- 入試説明会日程  
12月9日(土) 12月16日(土)
- 個別相談会日程  
12月23日(土) 1月6日(土)

場所★浜松聖星高校 対象★中学生とその保護者

## ステラサンクタ クリスマス

日時 2017年12月17日(日) 16:30開場 17:00開演  
 会場 アクトシティ浜松 中ホール  
 内容 ★第1部 「聖誕劇」  
 ★第2部 吹奏楽コンサート  
 出演 吹奏楽部 ダンス部 合唱部 演劇部 放送部 ほか  
 入場料 前売券800円 当日券1000円

【注意事項】 ●未就学児童は入場できません。 ●車いす席についてはお問い合わせください。  
 ●ご購入されたチケットの払い戻しはできません。

### 前売券のご購入

★浜松聖星高校での販売  
 11月1日(水)～12月16日(土)  
 平日9:00～16:00 土曜9:00～12:00

★アクトシティ浜松 チケットセンターでの販売  
 11月1日(火)～12月23日(金)  
 10:00～19:00  
 地下1階インフォメーションにて

### 前売券のご予約

★電話予約  
 予約期間/11月1日(水)～12月13日(水)  
 の平日9:00～16:00  
 電話番号/053-454-5376  
 ①お名前 ②生年月日 ③枚数をお伝えください。

★ネット予約  
 予約期間/11月1日(水)～12月13日(水)  
 最終日は16:00まで 予約方法/  
<http://www.uminohoshi-h.ed.jp/>  
 浜松聖星高等学校ホームページから予約画面にお入りください。10:00～19:00

### 予約券の引換え

当日16:00～16:45、「予約券引換窓口」にてお名前をお申し出ください。代金と引換えてチケットをお渡します。

※16:45を過ぎますと予約は無効とさせていただきます。ご注意ください。

お問合せ 電話/053-454-5376 浜松聖星高等学校「ステラサンクタクリスマス」実行委員会

## キャンパスカレンダー

### 11月

4日(土) 2年生保護者対象大学進学説明会  
 11日(土) 秋のオープンスクール  
 17日(金) 物故者追悼式  
 25日(土) 秋のオープンスクール

### 12月

9日(土) 入試説明会  
 16日(土) 入試説明会  
 17日(日) 降誕祭

### 2018年

### 1月

24日(水) マラソン大会

### 2月

3日(土) 1、2年保護者対象進路説明会  
 26日(日) 吹奏楽部 第21回定期演奏会  
 27日(火) 送別会

### 3月

1日(木) 卒業証書授与式

